

# 町長日誌 No.216



町長日誌の第 216 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

10月23日 (土曜日) PM0:00

今日は、土曜日ですが早朝から興部スキー場頂上にある配水池や役場を回り、午前中は給水場所になっている秋里集落センター、沙留公民館、興部公民館を回り、今役場でこの日誌を書いています。20日から21日にかけて歌登・雄武・西興部・興部周辺に発生した強い低気圧による雨雲は移動が遅く21日の夜9時頃まで激しく降り続けました。私は札幌出張中で副町長から21日朝、雨の状況と興部川の水位などの連絡を受け、増水危険のある個所への排水ポンプの設置を行いました。21日午後には海が満潮位を迎えることから十分警戒することにしました。その後、河川の増水は興部川の避難判断水位5m74cmを超える可能性もあり、避難所設置の可能性もありましたが、予報通りの午後9時頃には雨足も弱くなり安堵したのですが、上下水道課から水源である宇津川の濁りが酷く茶色い色が取れないとのことで、断水して原水がきれいになるのを待つべきか？浄水場内の多少濁りのある水をそのまま送水し、次に作る水を出来るだけきれいな水へとしながら順次送水し続ける方法にすべきかの判断伺いの電話が夜中の0時少し前に副町長からありました。私は「出来るだけ空気を入れずに送水しながら水をきれいにするように」との指示をしました。実は、私が町長になる前にもあったことですが、一旦送水管を空にしたり、途中のバルブの開け閉めを繰り返しますと管内部のサビや汚れが大量に剥がれるため、かえって水が汚れる可能性があるのです。濁り色のついた水が一時的とはいえご家庭に届く可能性があるのですが、上下水道課としては出来るだけ濁った水を排水しながら21日から不眠不休の作業を続けました。数件「少し水が濁っている」という連絡が住民の方からありましたが、お陰様で今朝(23日)までにはほとんど興部町内には影響ない状況となりました。しかし、秋里へは別の配水池から送水していますし、沙留地区に届くまでには今日の夕方までかかる可能性が高いことから、明日(24日)午前中まで様子を見まして、最終的には水道水の水質検査を紋別市水道局にお願いして「異常なし」の判断が出た時点で飲料水としての使用をライン・メール・放送で周知する予定です。本当に多くの皆様にご迷惑をお掛けしましたが、冷静なご対応を頂きました町民皆様にご感謝とお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

ここで、水道水の送水経路などについて少しお話します。興部町には水源と水を綺麗にする浄水場が宇津・豊野・住吉の3カ所あります。豊野地区は豊野浄水場から、住吉・富丘地区は住吉浄水場から供給しています。これ以外の地区のほとんどは全て宇津川から取水した原水を宇津浄水場で浄化して興部スキー場にある配水池(水を溜める槽)に自然流下で送り、この配水池から興部市街地はもとより沙留市街地まで供給しているのです。強く降り続く雨の時は水が濁りますので、職員は泥などを分離する作業を徹夜で行うこともあるのですが、水の濁りは浄化しやすく、今回の様に雨が長時間強く降るケースは滅多にないことなのです。実は、水道担当者として一番厄介な作業はこの季節の落ち葉から生じる「紅茶のような色」なのです。ですから、9月ぐらいいまでの大雨であれば案外水の色は綺麗になり易いのですが、今回の様に枯れ葉の多い季節の大雨の場合は水の色がなかなか綺麗にならず職員は苦勞していることも、町民の皆様には知っていただければ幸いです。

コロナが急速に減少しました。原因はわかりません。ワクチン接種が進んだからなのか？ウイルスが変異しすぎて弱くなったのか？もう少し経てば判るでしょう。小学校の学芸会は学年ごとに児童も親も入れ替えで感染対策を万全にして行われました。2年生はやっと初めて学芸会が出来たのです。元気に演技する子供たちを見るとしみじみと「幸せ」を感じます。11月からインフルエンザワクチン接種も始まります。数が少ないようです。予約制ですので電話してください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

